

御中

仕 様 書

キュートFPシステム

FP パーキング工法

(コンクリート・モルタル)

- 表 紙
- 工 程 表
- 材 料 説 明
- 注 意 事 項

九州塗料工業株式会社

工 程 表

工 程	内 訳	商 品 名	k g /m ²
1.下地処理 (コンクリート・ モルタル)	(1) 浮陸部調整 (2) 清掃・洗浄・乾燥		
2.プライマー	(1) ウレタン樹脂塗料塗布	パイオニヤシーラー #100	0.3
不陸調整	(1) クラック・欠け・凹部処理	Qコートパテ E	
3.下塗	(1) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.8
4.ライニング①	(1) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.6
	(2) ガラスマット敷設	ガラスマット #450	0.45
	(3) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.6
4.ライニング②	同上	同上	同上
点検・補修	(1)浮き・膨れの発生した FRP ライニング 層はカッター、ディスクサンダー等で 切り取る。 (2)4.の工程で部分補修する。		
FRP 層調整	(1) 全面サンディング (2) ガラスマット毛羽取り		
5.中塗	(1) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.4
	(2) 珪砂散布	珪砂 4 号散布	1.0
	(3) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.4
6.上塗	(1) 着色ポリエステル樹脂塗布	PC-855TP	0.4

※ 下地調整 : 下地は十分乾燥 (含水率 9%以下) させてください。

新設コンクリートの養生期間目安は 30~40 日です。新設コンクリートの場合、
表面レインタンスを除去してください。

※ 角処理 : 外 R は 6R 以上に、内 R は 10R 以上に処理してください。

※ 珪砂散布 : PC-640FXT を塗布し直ちに珪砂を均一に散布してください。硬化後、余分な珪砂を除去
し再度 PC-640FXT を塗布してください。珪砂は水分・鉄分がない物を使用してください。

※ 下塗、FRP ライニング、中塗用の樹脂には別品番 P-2・PC-660FX も使用可能です。

材料説明

1. プライマー

◎ 商 品 名	パイオニヤシーラー#100
◎ 成 分	湿気硬化型ウレタン樹脂塗料
◎ 使 用 箇 所	コンクリート・モルタル
◎ 液 性	一液型
◎ 使 用 方 法	原液のままローラー刷毛等にて塗布してください
◎ 商 品 規 格	14 kg 3.5 kg

2. パテ

◎ 商 品 名	Q コートパテ E
◎ 成 分	ポリエステルパテ
◎ 使 用 箇 所	クラック・欠け・凹部処理・目詰め
◎ 液 性	二液型
◎ 使 用 方 法	硬化剤を 0.6~3.0%練りこみへら等を利用して欠損部を埋めてください
◎ 硬 化 時 間	2~5 時間
◎ 商 品 規 格	19 kg 4 kg

3. 下塗・中塗・ライニング用樹脂

◎ 商 品 名	PC-640FXT (S 夏用・M 春秋用・W 冬用)
◎ 成 分	弾性不飽和ポリエステル樹脂
◎ 使 用 箇 所	下塗・ライニング・中塗用
◎ 液 性	二液型
◎ 使 用 方 法	硬化剤を 0.6~3.0%添加しよく攪拌後塗布してください
◎ ゲル化時間	30~60 分
◎ 硬 化 時 間	3~5 時間
◎ 商 品 規 格	20 kg

4. 上塗

- ◎ 商 品 名 PC-855TP(骨材なし)
FP 各色 (FP グレー、FP ダークグレー、FP モスグリーン、FP グリーン)
(SS 真夏用・S 夏用・M 春秋用・W 冬用)
- ◎ 成 分 不飽和ポリエステル樹脂塗料
- ◎ 使 用 箇 所 上塗
- ◎ 液 性 二液型
- ◎ 使 用 方 法 硬化剤を 0.6~3.0%添加しよく攪拌後、ローラー刷毛等にて塗布してください
- ◎ ゲル化時間 10~30分
- ◎ 硬 化 時 間 3~5 時間
- ◎ 商 品 規 格 20 kg 4 kg

5. 硬化剤

- ◎ 商 品 名 パーメック・ブタノックス・メポックス
(パーメック N・ブタノックス M-60・メポックス 55 等の標準タイプ推奨)
- ◎ 成 分 メチルエチルケトンパーオキサイド
- ◎ 商 品 規 格 5kg×2 (ケース) 1kg×10 (ケース)
- ◎ 硬化剤表 (目安)

気温	添加量
35℃以上	0.6%
25℃	1%
15℃	2%
5~10℃	2~3%

6. ガラスマット#450

- ◎ 商 品 名 チョップドストランドマット
- ◎ 商 品 規 格 30 kg=1.00×64m (両耳付き)

施工上の注意事項

1. FRP ライニングは下地の条件によって性能が大きく左右されます。

- ①下地表面が湿った状態での施工は出来ません。含水率 9%以下に乾燥させてください。
新設コンクリートの養生期間目安は 30～40 日です。
- ②下地表面の油分、ホコリ等はあらかじめ除去してください。
新設コンクリートの場合、表面レイトランスをワイヤーブラシ等で必ず除去してください。

2. プライマー

- ①高温（30℃以上）高湿度（80%以上）で使用の際は 3 時間以内に次工程に進んでください。
- ②プライマー塗布乾燥後、2～24 時間以内に次工程に進んでください。
- ③プライマー塗布後、24 時間以上経過したり降雨になった場合は、サンドペーパー等で研磨後、再度塗布してください。

3. 下塗・中塗・ライニング

- ①ポリエステル樹脂は季節に応じた適切なものを使用してください。（S 夏用・M 春秋用・W 冬用）
- ②硬化剤は気温に合わせて規定量添加してください。
- ③FRP ライニングの性能は、完全な含浸と脱泡及び樹脂の完全な硬化で始めて発揮されます。
- ④ガラスマットのラップは 50 mm 以上重ねてください。
- ⑤施工間隔があいた場合はサンディングして次の工程へ進んでください。
- ⑥下塗、FRP ライニング、中塗用の樹脂には別品番 P-2・PC-660FX も使用可能です。

4. 上塗

- ①上塗は季節に応じた適切なものを使用してください。（SS 真夏用・S 夏用・M 春秋用・W 冬用）
- ②硬化剤は気温に合わせて規定量添加してください。
- ③夏場など直射日光が当たる部分では、空気乾燥剤が浮かずべたつきが残ることがあります。このような場合には直射日光が当たる時間を避けるか、シートで日陰にする等の措置をとってください。

5. 気象条件

- ①気温が 5℃未満の時は施工しないでください。
- ②強風又は高温多湿の時は施工しないでください。
- ③降雨、降雪時またはそれが予想される場合、もしくは降雨、降雪後で下地が未乾燥の場合は施工しないでください。
- ④気象条件・気温・施工面温度等に適した季節タイプを使用し、硬化剤の量を調整してください。

6. 火気厳禁・保管注意

- ①周囲での火気使用は厳禁です。万が一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用してください。
- ②直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- ③多量の硬化剤入り樹脂は容器内で高温発熱し発火する恐れがあるので、容器に残った樹脂には必ず注水してください。
- ④パイオニヤシーラー #100 は危険物の第4類 第1石油類に該当します。
- ⑤Qコートパテ E は危険物の第2類 引火性固体に該当します。
- ⑥PC-640FXT、PC-855TP は危険物の第4類 第2石油類に該当します。
- ⑦硬化剤は危険物の第5類 第2種自己反応性物質に該当します。金属との接触を避け、衝撃を与えないようにして下さい。火気に注意し、直射日光があたらないよう冷暗所に保管してください。
- ⑧ガラスマットが湿気を帯びていると樹脂が硬化不良を起こします。雨等に濡れない乾燥した場所に保管してください。
- ⑨使用後の残液は、いずれも有機溶剤作業の関係法令、消防法に従って処理してください。
- ⑩子供の手の届かないところに保管してください。

7. 発火注意

塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。多量の硬化剤入り樹脂は容器内で高温発熱し発火する恐れがあるので、容器に残った樹脂には必ず注水してください。

8. 保護具着用

作業に適したヘルメット、保護メガネ、長袖衣服、ゴム手袋、有機溶剤用防毒マスク等を着用してください。

9. 応急措置

塗料・樹脂・硬化剤が皮膚に付着した場合、直ちに水でよく洗い流してください。炎症が生じた場合は医師の診断を受けてください。誤って目に入った場合は、直ちに多量のきれいな水で15分以上洗眼し、必ず眼科医の診察を受けてください。

10. 廃棄方法

中身を使いきってから廃棄してください。廃液・汚泥等は関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。